

飲料水

■ 飲料水の備蓄状況

・飲料水の目的で非常用に備蓄している水の総量は、人口1人当たり468.5リットル。

	集計値(47都道府県)
全国人口	125,570,246 人
飲料水の目的で非常用に 備蓄している水の総量	58,829,337,484.1 リットル
人口1人当たり貯水量	468.5 リットル/人

【 定 義 】

飲料水として利用される水源：

水道事業において地震等緊急時における給水を確保するための配水池及び耐震性貯水槽等各種貯留施設

消防水利に指定された耐震性貯水槽で、飲料水兼用型の施設

都市公園、学校等に設けられている井戸、水泳プール（耐震性、浄化機能を備えたもの）または耐震性貯水槽

農業用の給水施設であって、地震等緊急時においても飲料水を供給できる施設

* 前記の ～ の耐震性貯水槽にあたっては、重複積算することのないよう留意し、 、 及び については県営水道等県の施設、さらに については企業団の施設も対象とする。井戸に関しては、1日に10000リットル（10トン）を取水可能量とする。

人口1人当たり貯水量 ： 飲料水の目的で非常用として別途確保している、人口1人当たり1日に供給可能となる貯水量

(リットル/人) 都道府県別の飲料水の目的で非常用に備蓄している水の総量

